

新しい書誌レコードの派生

MDエディタの「新規レコードの派生」ツールを使用すると、関連する書誌レコードとデフォルトテンプレートを使用して、次のいずれかのタイプの関連を含む新規レコードを作成できます。リレーションタイプ（ホストアイテムまたはその他のエディション）の選択に基づいて、コピーされたレコードのMMS IDが、新しいレコードを実行および拡張するための関連ジョブのコネクタフィールドに配置されます。

コネクタフィールドは、MARCプロファイルタイプによって異なり、以下の通りです:

- MARC21 / KORMARC-ホストアイテム (773) およびその他のエディション (775)
- UNIMARC-ホストアイテム (461) およびその他のエディション (451)

新規書誌レコードの派生 - MARC 21

MARC21/KORMARC の新規レコードの派生ツールには、以下の種類のリレーションがあります:

- ホストアイテム (773) – 別の書誌レコードで記述されているジャーナルの特定の記事を参照する分析レコード。
- その他エディション (775) – 同じ書誌レコードの他のエディションを説明するレコード。

上記の各フィールドには、元の関連レコードから入力される次のサブフィールドが含まれています。

- t – 元の245.a (タイトル)。
- w – 各035フィールドの035.aサブフィールドまたは元のMMS IDを含む繰り返し可能なサブフィールド。
- x – 反復性のないISSN (022.aに存在する場合)。ツールは最初の出現のみを使用します。
- z – 反復可能なISBN (020.a / 020.eに存在する場合)。
- g – 関連する部分。これは必須のサブフィールドですが、手動で入力する必要があります。このツールには、フィールドにプレースホルダーが含まれています。
- p – 略称タイトル。これは必須のサブフィールドですが、手動で入力する必要があります。このツールには、フィールドにプレースホルダーが含まれています。
- q – 最初のページのリスト。これは必須のサブフィールドですが、手動で入力する必要があります。このツールには、フィールドにプレースホルダーが含まれています。

新しい所蔵レコードが保存されると、システムは空のサブフィールドを削除します。

さらに、このツールは元の関連レコードから次のフィールドを含み、デフォルトのテンプレートのフィールドに組み合わせます。

- 050、080、および260-元の関連レコードからの最初の出現のみが含まれますが、デフォルトテンプレートからの他の出現も含まれます。
- 300.c-元の関連レコードのa cサブフィールドを有する300フィールドのすべての出現が含まれます。ツールは、元の関連レコードからcサブフィールドのみコピーすることに注意してください。

たとえば、次の図は、新規に派生させたレコードの入力に使われたフィールドを示しています:

```

Working on -test_import MARC bin (993992200000121), Created by Ex Libris (18/10/2012 09:37:02 AM IST)
020   $$a 9780802716095
035   $$a (OCoLC)1810120601 $$z (OCoLC)1810120601
035   $$a (OCoLC)1810120601
040   $$a GEC $$c GEC $$d BAKER $$d OHI $$d YDXCP $$d BTCTA $$d KUT $$d AGL $$d
    WAU $$d IAC $$d NOR $$d XXH $$d SMP $$d CQU $$d STF $$d NLC $$d DAC $$d TBS
042   $$a pcc
043   $$a n—— $$a s——
050  4  $$a QL676.57.A45 $$b S88 2007
055  0  1  $$a QL698.95
055  0  0  $$a QL698.95 $$b S77 2007
070  0  $$a QL676.7 $$b .S88 2007
082  0  4  $$a 598.8 $$2 22
100  1  $$a Stutchbury, Bridget Joan, $$d 1962-
245  1  0  $$a test_import MARC binary file_1810120601 $$c Bridget Stutchbury.
250   $$a 1st U.S. ed.
260   $$a 1810120601 : $$b Walker & Co., $$c 2007.
300   $$a 255 p. : $$b ill. (some col.), maps : $$c 24 cm.
504   $$a Includes bibliographical references (p. 227-244) and index.

```

元の関連レコード

次の図は、新規派生レコードの結果を示しています。ハイライトされていないフィールドは、デフォルトのテンプレートから取得されます。

```

Working on -No Title (99122235300121)
008   #####c###9999xx##r1#####0###0eng#d
022   $$a
035   $$a (OCoLC)
041  0  $$a
042   $$a
043   $$a
050  0  0  $$a
050  4  $$a QL676.57.A45 $$b S88 2007
210  0  $$a $$b
222   0  $$a $$b
245  0  0  $$a $$b
260   $$a
260   $$a 1810120601 : $$b Walker & Co., $$c 2007.
300   $$a
300   $$c 24 cm.
310   $$a
515   $$a
650   0  $$a $$x $$z
651   0  $$a $$x $$z
775  0  #  $$t test_import MARC binary file_1810120601 $$w (OCoLC)1810120601 $$w (OCoLC)
    1810120601 $$z 0802716091 $$z 9780802716095 $$w 993992200000121 $$g $$p $$q

```

775フィールドおよびその他の派生フィールドを示す取得レコード

Note

773または775タグの\$wサブフィールドのレコード番号の前にかっこでMARCコードを挿入すると、Almaは関連レコードリンクを作成しません。この例は、775タグの上の図にあります： ...\$\$w (OCoLC)1819120601 ... したがって、773および775タグの\$wサブフィールドでは、かっこ付きのMARCコードを使用しないことをお勧めします。

新しい書誌レコードの派生 - UNIMARC

UNIMARC の新規レコードの派生ツールには、以下の種類のリレーションがあります:

- 461 (ホストアイテム)
- 451 (その他のエディション) フィールド

UNIMARC 4XXフィールドの関連レコード情報は、その方法で (MARC 21形式の77Xフィールドと同様に) Almaで引き続き保守されます。

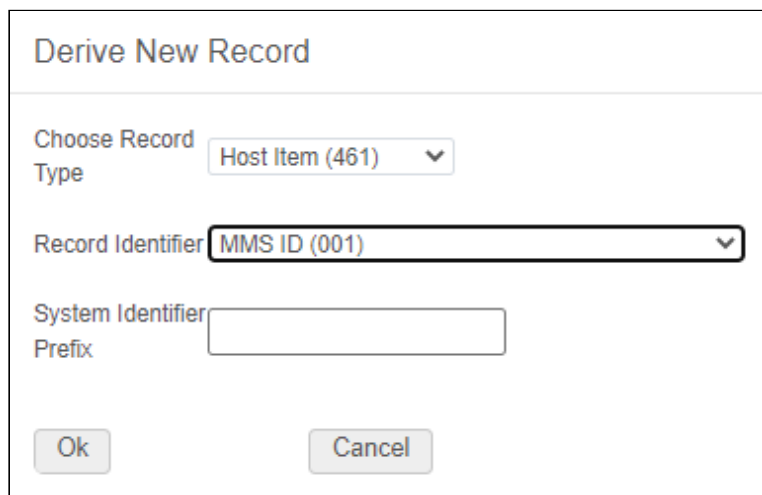
さらに、このツールは、元の関連レコードから以下のUNIMARCフィールドを取り出し、デフォルトテンプレートのフィールドと結合します:

- MMS ID (001)
- 035 \$a
- 200 \$a
- 210 \$a \$c \$d
- 215 \$a \$c \$d \$e

新規レコードを派生させる

新しいレコードを派生させる方法

1. [MDエディタ]を開きます ([リソース > 目録 > メタデータエディタを開く])。
2. デフォルトのテンプレートを指定し、リンクしたい関連レコードを開きます。
3. [レコードアクション] > [新規レコードの派生]を選択します。
4. レコードタイプの**選択**フィールドで、以下を選択します:
 - MARC21 / KORMARC - ホストアイテム (773) または その他のエディション (775) を選択します。
 - UNIMARC- ホストアイテム (461) または その他のエディション (451) を選択します。



The screenshot shows a dialog box titled "Derive New Record". It contains three main sections: "Choose Record Type" with a dropdown menu showing "Host Item (461)", "Record Identifier" with a dropdown menu showing "MMS ID (001)", and "System Identifier Prefix" with an empty text input field. At the bottom, there are two buttons: "Ok" and "Cancel".

5. レコード識別子フィールドで、から接続IDの取得元を選択します:

- **MMS ID (001)** - これはUNIMARC プロファイルのデフォルトオプションです。
AlmaはレコードID (MMS ID) 用に001フィールドを使用し、以前のシステムIDは035フィールドに保持されるため、Alma関連のレコードロジックはUNIMARC 4XXフィールドに含まれる、以前のシステムIDの035フィールドをチェックします。これらのレコード間のリンクは、毎日実行されるようにスケジュールされているAlma **MMS - レコード関係の構築** ジョブ ([すべてのスケジュール済みジョブの表示](#) を参照) で作成されます。MDエディタを使用したインポート、エクスポート、公開、目録のコピー、編集によるレコードの連続的な移動の間、Almaはこの形式、ロジック、処理を活用して書誌レコードを維持および管理し続けます。
 - **その他システム番号 (035)**
このオプションを選択し、システム識別子プレフィックス (例: SBN) を指定すると、035フィールドからの特定プレフィックスを持つIDが接続フィールドに配置されます。
 - **MMS ID (001) および 他のシステム番号 (035)** - これはMARC21/KORMARCプロファイルのデフォルトオプションです。
6. システム識別子プレフィックス フィールドには、希望するシステム識別子のプレフィックスを指定します。このパラメータはオプションです。設定されていない場合、035フィールドがすべて使用されます
 7. [OK]を選択してダイアログを閉じ、新しいレコードを取得します。
 8. 新しいMARC21/KORMARC レコードでは、追加フィールドを入力し、773または775フィールドの空の **g**、**p** および **q** サブフィールドを更新してください。
 9. 変更を新しいレコードに保存します。